

# 令和5年度の学校教育の努力点とその推進計画

## 1 研究主題

あなたも大切、わたしも大切

－ 互いを認め合える居心地のよい学級を目指して －

## 2 研究主題について

本校では、昨年度まで努力点研究として『「知りたい 見たい やってみたい」から「分かった！できた！やったー！」へー深い学びを目指したピア・ラーニングを通してー』をテーマに取り組んできた。授業者が児童の実態を踏まえた上で様々な手立てを講じた結果、児童が、自身や友達との考えを比較検討したり、話し合いの中から新たな考えを生み出したりすることができるようになった。また、意欲的に話し合いに参加したり、自ら進んで友達の意見を聞こうとしたりするなど、行動面でも変化が見られるようになった。しかし、研究を通して新たな課題も浮き彫りになった。それは、話し合いの時間を設ける度に、特定の児童としか関わることができなかった児童が一定数いたことである。特定の児童だけではなく、誰とでも気兼ねなく話し合うことができる人間関係の形成が、深い学びには必要だったのではないかと考える。

昨年度の研究で浮き彫りになった本校の課題と、令和5年度の名古屋市の学校教育目標から、今年度の学校努力点のテーマを『あなたも大切、わたしも大切ー互いを認め合える居心地のよい学級を目指してー』として、1年間を通して、自分自身や友達の良さに気付き、互いに尊重したり認め合ったりすることで、自己肯定感の向上を図っていく。また、そのような取り組みを積み重ねていくことで、一人一人の児童が居心地がよいと思えるような学級を目指していく。

## 3 目指す子ども像

自分自身や友達の良さに気付き、互いに尊重したり認め合ったりすることで、自己肯定感の向上を図っていく。そのためには、自分の気持ちや考えを相手に伝えることができる力や、人の気持ちを考える力、相手の発言に対して受け入れる力が必要だと考える。今年度は、目指す児童の姿を以下のように考え、自分自身や友達の良さに気付き、互いに尊重したり認め合ったりすることで、自己肯定感の向上を図ったり、一人一人の児童が居心地がよいと思えるような学級を目指したりする手立てについて模索し、その成果を検証する。

低学年：互いの好きなもの・ことを伝え合って、違いを認め合うことができる。	(互いの関心を高める)
中学年：自分や友達の良さに気付き、伝え合いながら関わり合うことができる。	(内面的な良さに気付く)
高学年：自分や友達を受け止め、認め合うことができる。	(互いの関わりを深める)

## 4 今年度の手立て

### ○ 全校体制で取り組む手立て（日常実践）

#### 互いを認め合う学級の雰囲気づくり

各学級で、よいところ見つけを行う。方法については学級の実態に応じて行う。

#### 友達と円滑に話すためのルールづくり

友達の考えに対するリアクションや、話すときのルール作り。

○ 友達との関わり方やお互いを認め合うための手立て（授業実践）

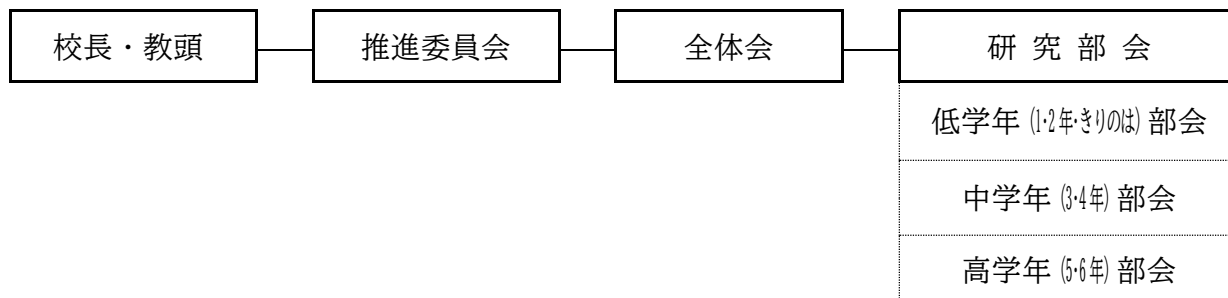
友達との関わり方について学ぶためのソーシャルスキルトレーニング

ソーシャルスキルトレーニングとは、社会生活上で、人と人が関わり合いながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける方法。

お互いを認め合うことができる構成的グループエンカウンター

構成的グループエンカウンターとは、集団学習体験を通して、自己発見による行動の変容と、人間的な自己成長をねらい、本音と本音の交流や感情交流ができる人間関係づくりを目指す方法。

## 5 研究組織・研究計画



- \* 推進委員会は、校長・教頭・教務主任・校務主任・推進委員長で構成する。計画の大まかな方向付け、問題点の検討、まとめ方の検討などを行う。
- \* 研究部会は、互いの手立てを検討し、研究主題に迫り切れていない児童にどのような支援を行うとよいかについて話し合う。
- \* 各学年、公開授業を年1回行い、指導方法や手立ての有効性を検証する。
- \* 努力点で取り組んでいる内容は、学校だよりや学年だより、ホームページ、授業参観、懇談会などの機会を通して、保護者や地域に発信していく。

## 6 年間計画

月	研究の内容	月	研究の内容
4	・ 全体会（研究の進め方） ・ 研究主題について共通理解	10	・ 中間報告会 ・ 授業実践等及び振り返り
5	・ 推進年間計画の作成・検討 ・ 授業実践等及び振り返り	11	・ 授業実践等及び振り返り
6	・ 授業実践等及び振り返り	12	・ 実践報告②（個人懇談会） ・ 推進委員会 （研究集録のまとめ方）
7	・ 実践報告①（個人懇談会） ・ 推進委員会 （中間報告のまとめ方）	1	・ 全体会 （最終報告と研究集録について） ・ 授業実践等及び振り返り ・ 研究集録原稿の執筆及び製本
8	・ 文献による研究 ・ 研究大会・研修会への参加	2	・ 最終報告会 ・ 実践報告③（学級懇談会）
9	・ 全体会（中間報告のまとめ方） ・ 授業実践等及び振り返り	3	・ 推進委員会 （今年度の反省と次年度の方向性の検討）

